

使い方. 詳しく説明

- ① 直射(日光)を避け. 水平な台の上に置く.
- ② はじめに(接眼)レンズ. 次に(対物)レンズをつける.

理由: 鏡筒や対物レンズにゴミが入らないようにするため。
(はじめに接眼レンズを取り付けてふたをするようなイメージ)

- ③ (レボルバー)を静かに回して最低倍率にしたあと. しほりを調節し. (接眼)レンズをのぞきなから(反射鏡)を動かして視野全体が最も明るくなるようにする.

最初は焦点深度(←ピントの合う範囲のこと)が(深)く. 視野の(広)い低倍率で観察する.
反射鏡はふつう低倍率では(平面)鏡を使用する.

- ④ プレパラートをステージの上ののせ. クリップで固定する.
(試料がレンズの真下にくるように)
- ⑤ (横)からのぞきなから(調節ねじ)を回してステージを上げ. (対物)レンズに触れる直前までプレパラートを近づける.
- ⑥ 次に(接眼)レンズをのぞきなから. (対物)レンズとプレパラートをゆっくり(遠ざ)けるように(調節ねじ)を回してピントが合うまでレンズと試料の間を離していく.
- ⑦ 鮮明な像が見えるように(しほり)を調節する.

↓
レンズから入ってくる光の量を調節する装置